

平成 26 年 4 月 吉日

ご担当者 様

独立行政法人 国立環境研究所
セミナー委員会委員長 原 澤 英 夫

「国立環境研究所 公開シンポジウム 2014」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

国立環境研究所では、毎年 6 月の環境月間に東京と、他の地域のもう一か所で環境研究の最新成果を報告する公開シンポジウムを開催いたしております。本年は「低炭素社会に向けてー温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来ー」をテーマに、下記により開催を予定しております。

大変恐縮ではございますが、本シンポジウム開催のご案内をさせていただきたく、シンポジウムのリーフレットをお送りさせていただきますので、ご査収のほどお願い申し上げます。

なお、本シンポジウムにつきましてご不明な点やご質問等ございましたら、下記登録事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

テーマ： 「低炭素社会に向けてー温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来ー」

開催日・場所： 東京会場 2014 年 6 月 13 日（金）12 時～17 時 30 分
メルパルクホール（東京都港区芝公園 2-5-20）
奈良会場 2014 年 6 月 27 日（金）12 時～17 時 30 分
奈良県新公会堂（奈良県奈良市春日野町 101）

内 容： 地球の温暖化に代表される気候変動の問題は、現在から未来に向けて、世代の枠を超えた意識に基づく対応が求められる、長期的でかつグローバルな環境問題です。この問題に対処するためには、地球の温室効果ガスの変動要因や、大気組成の変化に伴い引き起こされる気候変動の予測、気候変動が及ぼす影響などに関する科学的な知見、および、それに基づく情報というものが非常に重要です。国立環境研究所では、こうした地球温暖化の問題に関して観測、モデル予測、影響評価、環境政策などに向けた幅広い研究を行ってきています。

今回の公開シンポジウムでは、地球環境に関わる 5 つの講演と来場者の皆様と対話をしながら研究者がご説明するポスターセッション(21 件)を予定しています。

本公開シンポジウムのテーマである「低炭素社会に向けてー温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来ー」について、皆様とともに考える機会にしたいと願っています。

(問い合わせ先)

国立環境研究所公開シンポジウム 2014 登録事務局

〒545-0022 大阪市阿倍野区播磨町 1-22-11 サクラインターナショナル（株）

TEL：050-5517-0970 / FAX：050-5517-4648 E-mail：info_nies2014@miceworld.jp

この印刷物は、印刷時の紙へのリサイクルを促す「リサイクルマーク」が貼られています。

一温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来一

低炭素社会に向けて



国立環境研究所
独立行政法人

奈良会場
奈良県新公会堂
12:00~17:30 (金) 6/27
奈良県奈良市春日野町101 TEL:0742-27-2630

東京会場
メルパルクホール
12:00~17:30 (金) 6/13
東京都港区芝公園2-5-20 TEL:03-3459-5501

公開シンポジウム2014

入場無料

アクセス

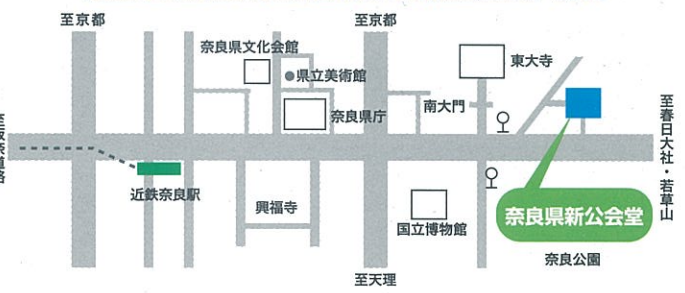
東京会場：メルパルクホール 6月13日(金) 12:00~17:30
東京都港区芝公園2-5-20 TEL:03-3459-5501

アクセス JR・モノレール「浜松町駅」より徒歩約10分 / 都営地下鉄三田線「芝公園駅」A3出口から徒歩約2分 / 都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門駅」A3・A6出口から徒歩約4分



奈良会場：奈良県新公会堂 6月27日(金) 12:00~17:30
奈良県奈良市春日野町101 TEL:0742-27-2630

アクセス 近鉄(奈良線・京都線)「奈良駅」下車 東へ徒歩20分 / JR(関西本線・奈良線)「奈良駅」から奈良交通バス(市内循環)「大仏殿春日大社前」下車 大仏殿交差点を東へ徒歩3分



参加申し込み方法 締切日：東京6月6日(金) / 奈良6月20日(金)

公式ホームページからのお申し込み
※PC、スマートフォンはこちらから
<http://www.nies.go.jp/event/sympo/2014/index.html>
上記アドレスにアクセスしてお申し込み下さい。
登録完了メールがお手元に届きますので、登録完了メールを印刷の上、シンポジウム当日に受付までお持ち下さい。

ハガキ・FAXでのお申し込み
下記添付ハガキに必要事項をご記入の上、登録事務局宛に郵送もしくはFAXにてお送り下さい。
E-mailアドレスをご記入いただいた場合はE-mailにて、ご記入いただけない場合はFAXにて、どちらにも該当しない場合は郵送にて、後日「参加証」をお送りいたしますので、シンポジウム当日に受付までお持ち下さい。

携帯電話からのお申し込み
※スマートフォンからはご覧いただけません。
QRコードを読み取るか、下記アドレスにアクセスしてお申し込み下さい。登録完了メールがお手元に届きますので、登録完了メールをシンポジウム当日に受付にお見せ下さい。
<https://www.miceworld.jp/nies2014/mobile>
※QRコードの読み取り方法は、各機種によって異なります。
※パケット通信料がかかります。



FAXでお申し込みの場合、この方向で送信下さい。
お申し込み
ケルアアで参加の場合は、恐れ入りますが、お一人ずつお申し込み下さい。
お問い合わせ
国立環境研究所公開シンポジウム2014
登録事務局
〒545-0022 大阪市阿倍野区播磨町1-22-11
サクラインターナショナル(株)
TEL: 050-5517-0970 (IP電話) / FAX: 050-5517-4648
E-mail: info_nies2014@miceworld.jp
参加無料

参加申込書 国立環境研究所公開シンポジウム2014 低炭素社会に向けて 一温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来一

(フリガナ)	氏名	次のがずれかに○印の上、ご記入下さい。 (①勤務地 ②自宅) 〒□□□□-□□□□	
	連絡先住所	勤務先名・部署(連絡先が勤務先の方は必ずご記入下さい。)	
	TEL	FAX	
	E-mail		
	参加希望会場	①東京会場(6月13日) ②奈良会場(6月27日)	
	● 差し支えなければ以下にもお答えください ●		
	このシンポジウムをどのようにお知らせになりましたか。(複数回答可)		
	①ポスター ②ダイレクトメール(郵送) ③ダイレクトメール(E-mail) ④国立環境研究所ホームページ ⑤知人からの紹介 ⑥国立環境研究所員からの紹介 ⑦その他 ()		
	今後、国立環境研究所から公開シンポジウムの情報案内を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない		

低炭素社会に向けて

— 温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来 —



ごあいさつ

独立行政法人 国立環境研究所 理事長 住 明正

地球の温暖化に代表される気候変動の問題は、現在から未来に向けて、世代の枠を超えた意識に基づく対応が求められる、長期的かつグローバルな環境問題です。この問題に対処するためには、地球の温室効果ガスの変動要因や、大気組成の変化に伴い引き起こされる気候変動の予測、気候変動が及ぼす影響などに関する科学的な知見、および、それに基づく情報というものが非常に重要です。国立環境研究所では、こうした地球温暖化の問題に関して観測、モデル予測、影響評価、環境政策などに向けた幅広い研究を行ってきています。

国立環境研究所では、毎年6月の環境月間に東京と、他の地域のもう一か所で環境研究の最新成果を報告する公開シンポジウムを行っています。本年は当研究所が実施している地球温暖化問題に関する調査・研究を通じて得られた経験や知見を広く皆様に報告する機会として公開シンポジウム2014「低炭素社会に向けて—温室効果ガス削減の取り組みと私たちの未来—」を企画いたしました。多数の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



プログラム（東京会場・奈良会場共通）

- 12:00~13:00 ポスターセッションI
- 13:00~13:10 開会挨拶 (独)国立環境研究所理事長 住 明正
- 13:10~13:50 大気中温室効果ガスの今
— 止まらない濃度上昇 —
地球環境研究センター 町田 敏暢
- 13:50~14:30 なぜ低炭素社会が必要か
— 気候変動リスク管理の視点から —
地球環境研究センター 江守 正多
- 14:30~15:10 気候変動に関する国際交渉
— 2015年に新しい国際制度はできあがるか —
社会環境システム研究センター 亀山 康子
- 15:10~15:25 休憩
- 15:25~16:05 グローバルからアジア、日本の温室効果ガス削減策
社会環境システム研究センター 増井 利彦
- 16:05~16:45 地域活力を高める「環境都市」をめざして
社会環境システム研究センター 藤田 壮
- 16:45~16:50 閉会挨拶 (独)国立環境研究所理事 原澤 英夫
- 16:50~17:30 ポスターセッション II

※内容は一部変更となる場合があります



ポスターセッション

1. 環境化学物質であるビスフェノールAがアレルギー性喘息に及ぼす影響
2. ディーゼル排気ガスがマウスの学習行動・母性行動に及ぼす影響
3. 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査) — 妊婦さん10万人の参加登録完了 —
4. 同位体比変動を利用した水銀の動態解析手法
5. 環境標準物質 — 環境計測の信頼性を確保するために —
6. 地球温暖化を「見える化」する様々な方法
7. 土壌呼吸に及ぼす温暖化の影響
8. 都市と地域における炭素管理(URCM)イニシアティブの国際的な推進
9. モンゴルの永久凍土の融解による水循環の変動および炭素吸収量の関係解明
10. 東アジアにおける広域大気汚染の構造を探る — どこからどこにどれくらい —
11. 都市のコンパクト化で乗用車からの二酸化炭素排出量はどれだけ減るか
12. 出力変動性を考慮した再生可能エネルギーの導入可能性分析
13. 拡大生産者責任に対するステークホルダーの認識についての国際調査 — 循環型社会に向けて —
14. 埋立地における廃棄物の安定化をどのように判断するのか — 埋立ガス発生量の把握に向けた取り組み —
15. 円滑で環境にやさしい災害廃棄物の処理に向けたマネジメント研究 — 制度・計画・人材育成 —
16. 災害対応型浄化槽システムの構築
17. 環境中の有機化学物質の曝露量と生体影響の関係解析に関する研究
18. 化学物質の構造に基づく生態毒性予測
19. 奄美大島におけるマングース防除の有効性 — 在来ネズミの個体数が回復 —
20. ウズラを用いた化学物質の影響評価手法の開発 — バイオリソースとしてのウズラの新展開 —
21. 国立環境研究所GHGインベントリオフィスの役割 — 京都議定書第一約束期間の報告を終えて —

大阪市阿倍野区播磨町1-22-11
サクラインターナショナル株式会社内
国立環境研究所
公開シンポジウム2014登録事務局 行

お手数ですが
52円切手を
貼ってお出し
下さい

5
4
5
—
0
0
2
2

郵便はがき

<キャンセル線>

個人情報のお取り扱いについて

当シンポジウムにご参加を希望される方は、以下の項目をご確認の上、お申し込み下さい。

1. ご記入いただきました個人情報は、当シンポジウムの運営管理の目的にのみ利用させていただきます。
2. ご記入いただきました個人情報は、当シンポジウムの主催者である独立行政法人国立環境研究所に提供いたします。
3. ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ厳重に管理いたします。
4. お申し込みいただきました方には、次回開催予定のシンポジウムに関するご案内を送付させていただきます。但し、ご要請があれば、すみやかに中止いたします。

※会場の準備のため、なるべく事前にお申し込み下さるようお願いいたします。

※当シンポジウムの講演については、ビデオ撮影し、後日国立環境研究所ホームページより配信する予定です。

参加無料

参加申し込み方法はこちらをご覧ください

